

# 乾乳期の施設について

## 1 自由に動ける環境～お産に向けての適度な運動(ストレス、規則的な陣痛)

### ① フリーストール

ゆとりある飼養密度  
…80%程度



滑らない施行



目地



ゆとりあるストールサイズ



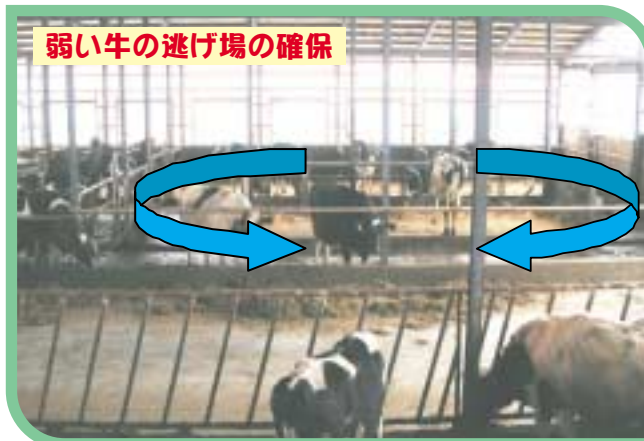
乾乳前期のカルシウム給与



豊富な敷料 (砂の例)



弱い牛の逃げ場の確保

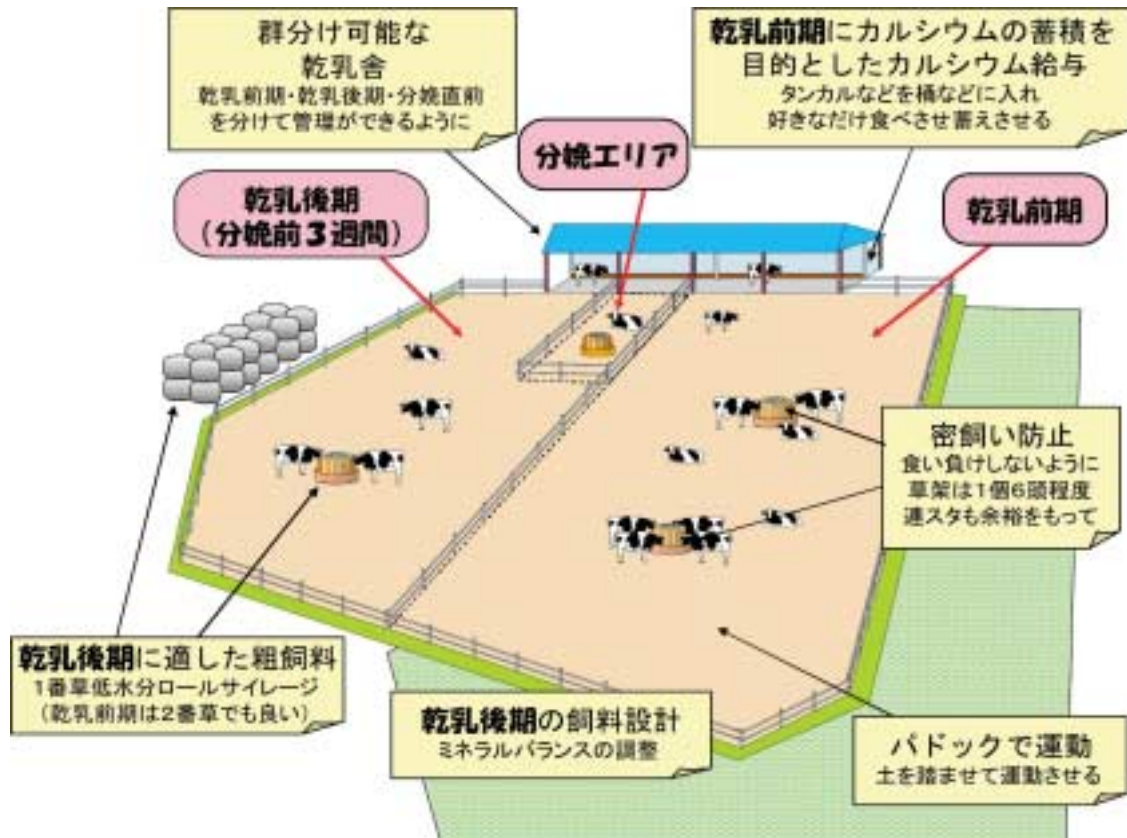


②フリーバーン



- ・1頭当面積の確保  
6~9㎡
- ・豊富な敷き料

③パドック、放牧



放牧草はマメ科牧草の混入状況により加齢量不確定  
↓  
**乾乳後期は放牧しない**

④自由に動ける環境が無くやむなく繋ぐ場合

・育成期の慣らし

育成期・・・フリーストール

分娩前、泌乳期・・・スタンション



育成期に繋留の馴致を行う

育成期の繋留馴致のためのストール



・ニューヨークタイストールへの改良

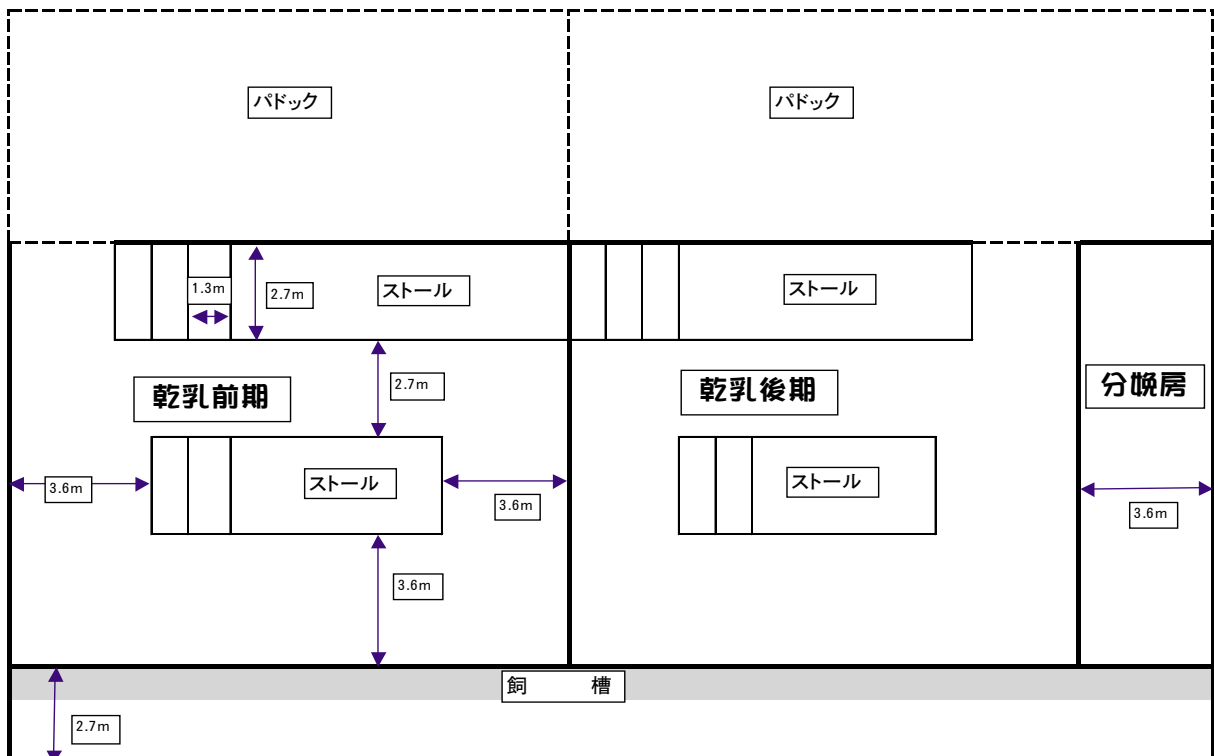


← スタンションをタイストールへ改装

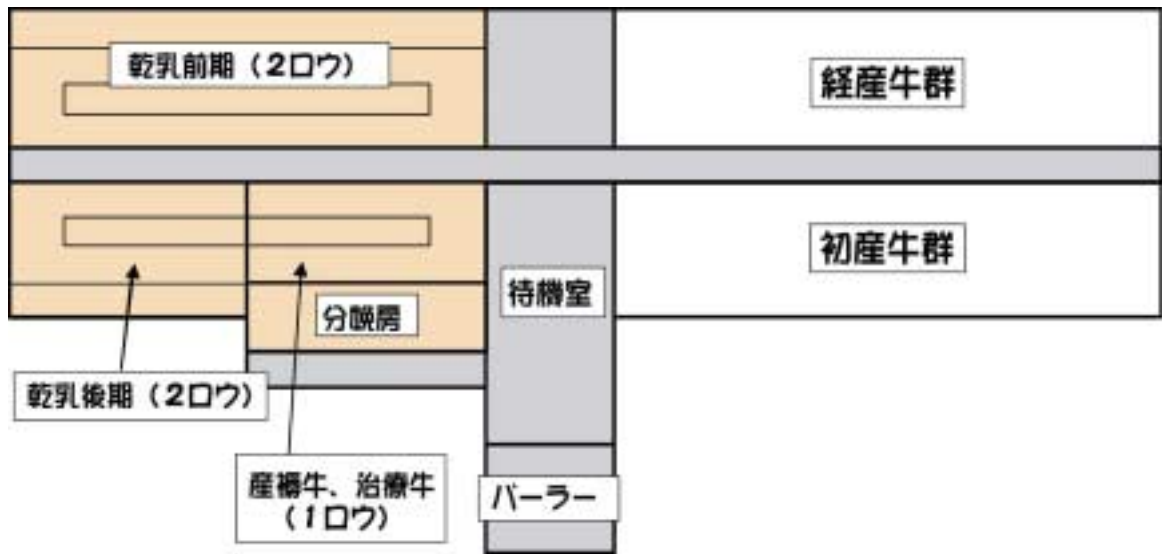
タイストールの方が  
自由度が高い

## 2 フリーストール牛舎レイアウトの例

①乾乳舎の例



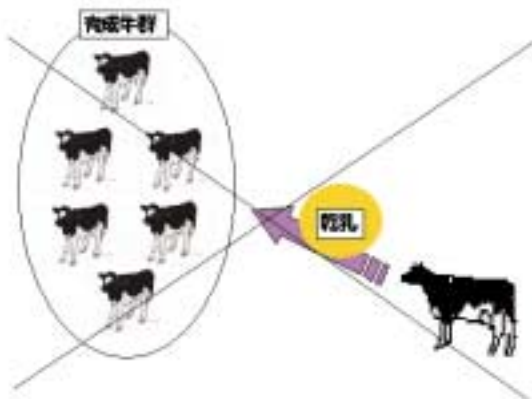
②搾乳牛舎も含めたレイアウトの例



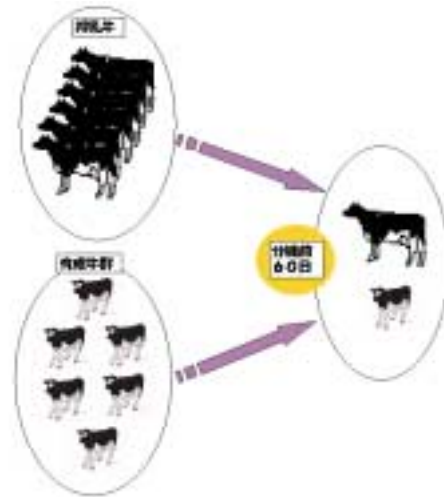
3 育成牛との競合

同一牛群で長く飼養されてきた育成牛群は仲間意識が強く、また昨今は体もおおきいため、たとえ大きな経産牛が入ってきても集団でイジメをするケースがあります。

育成牛群の中に乾乳牛を入れない



育成牛も分娩前同時期に乾乳牛群へ移動



4 分娩房への移動

- ・牛は本来集団で生活
- ・早い時期の移動は孤独感から採食量の低下

→ **ロンリーシンドローム**

**分娩場所への移動は**  
一次破水後など分娩直前に！

